

「治山林道留意事項の一部改正について」新旧対照表

新

旧

# 治山林道事業留意事項

令和5年7月

高知県林業振興・環境部 治山林道課

# 治山林道事業留意事項

令和4年7月

高知県林業振興・環境部 治山林道課

共通事項

1. ～ 3. (略)

共通事項

1. ～ 3. (略)

# 治山事業

## 1. (略)

## 2. 土工

### 1 バックホウ規格の選定

#### 1) 当初設計における選定

図 (略)

・本フローは施工土量 10,000 m<sup>3</sup> 未満に適用することとし、10,000 m<sup>3</sup> 以上については現場条件を勘案のうえ、本フローあるいは見積等により対応することとする。

(削除)

# 治山事業

## 1. (略)

## 2. 土工

### 1 バックホウ規格の選定

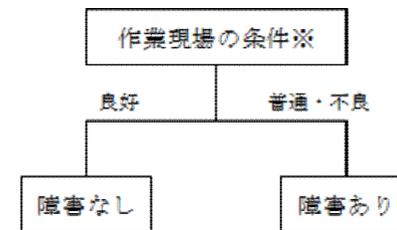
#### 1) 当初設計における選定

図 (略)

・本フローは施工土量 10,000 m<sup>3</sup> 未満に適用することとし、10,000 m<sup>3</sup> 以上については現場条件を勘案のうえ、本フローあるいは見積等により対応することとする。

・バックホウ日当たり施工量における現場条件の内容については下記を標準として選定するものとする。なお、現場条件により下記により難しい場合は別途考慮することとする。

(制限の内容については治山林道必携通りとする。)



- ※ 良好・・・作業現場が広く、地山が緩んでいて、しかも作業妨害が少なく連続作業が可能等の条件がそろっている場合
- 普通・・・掘削深が最適でも地山が固い場合又は掘削深が最適でなくても土が緩んでいる場合等上記の条件がほぼ中位と考えられる場合
- 不良・・・作業現場が狭く、掘削深が最適でなく又は地山が固く、かつ連続作業が困難で作業妨害が多い等の条件がそろっている場合

(比較検討にあたっての留意事項) (略)

2) (略)

2 ~ 1 2 (略)

3. (略)

#### 4. 流路工・水路工

1 (略)

### 2 コンクリート梯形流路、水路工断面

(ア) 標準断面図

図 (略)

(削除)

(イ) 標準横断面図 (集水管併用)

図 (略)

(削除)

上記を標準とするが、掘削側面が砂礫質土で、流路および水路工の一連の施工

(比較検討にあたっての留意事項) (略)

2) (略)

2 ~ 1 2 (略)

3. (略)

#### 4. 流路工・水路工

1 (略)

### 2 コンクリート梯形流路、水路工断面

(ア) 標準断面図

図 (略)

備考 地すべり地等側圧を受ける場合の側壁天端も同様に 0.30m とし、帯工天端は 0.50m とする。

(イ) 標準横断面図 (集水管併用)

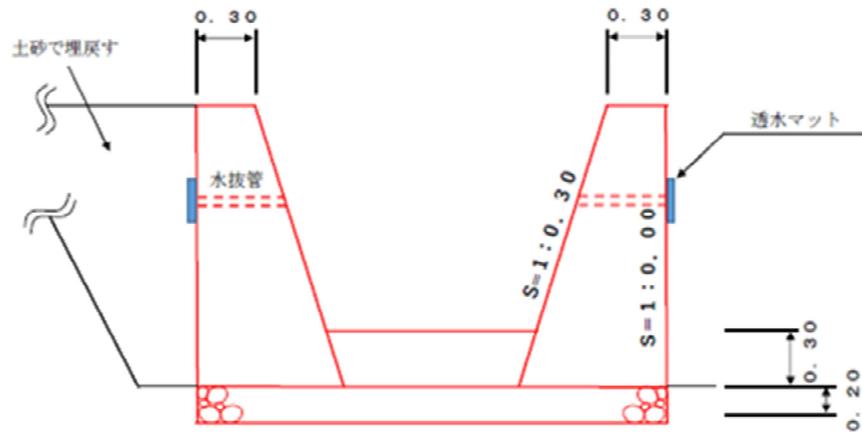
図 (略)

備考 地すべり地等側圧を受ける場合の側壁天端も同様に 0.30m とし、帯工天端は 0.50m とする。

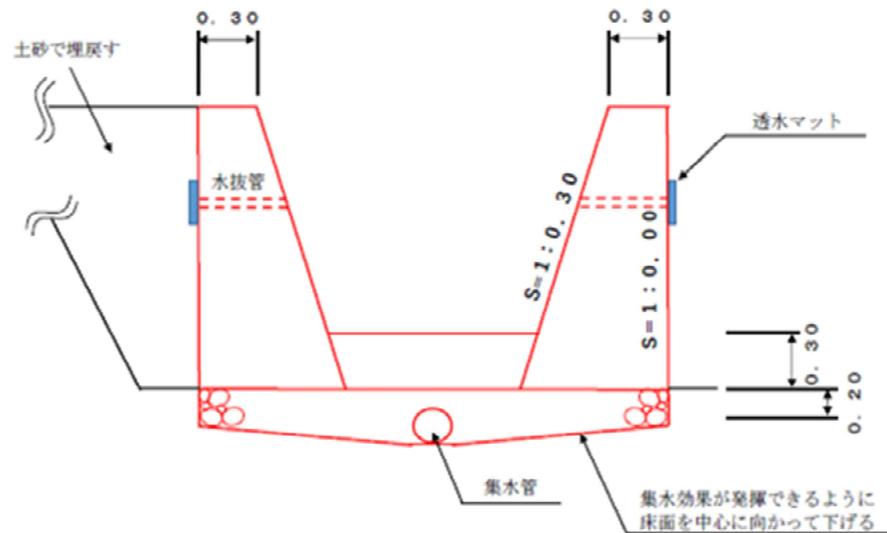
(新設)

作業の間に地山の崩落が考えられる場合に限り、下図（ウ）、（エ）の断面で施工できるとし、その場合には設計変更の対象とする。

（ウ）断面図



（エ）断面図（集水管併用）



（新設）

○備考1 ((ウ) ~ (エ) 共通)

水抜管の施工背面には裏栗石の代わりに透水マットを設置し、湧水や浸透水の排除を行うこと。透水マットの配置は「5. 土留工・護岸工」の4 水抜きについて の図表を標準とする。

○備考2 ((ア) ~ (エ) 共通)

地すべり地など、側圧を受ける場合の帯工天端は0.50mとするが、側壁の天端は0.30mとする。

(オ) 最小断面

(略)

(カ) 安定計算

(略)

(キ) 水抜き

(略)

3~5 (略)

5. ~ 10. (略)

(ウ) 最小断面

(略)

(エ) 安定計算

(略)

(オ) 水抜き

(略)

3~5 (略)

5. ~ 10. (略)

林道事業

1 ～ 12 (略)

林道事業

1 ～ 12

施工パッケージ型積算方式

1. ～ 4. (略)

施工パッケージ型積算方式

1. ～ 4. (略)